

学校教育目標	○問題解決に向けて自ら工夫し、主体的に取り組む子を育てます。(知)				
	○自他の思いや相互のかかわりを大切に育てます。(徳)				
学校概要	○自他の生命を尊重し、健康でたくましい子を育てます。(体)				
	○学校や地域に愛着を持ち、自分にできることを考えながら行動する子を育てます。(公)				
	○進んでさまざまな人やものとふれあいながら、社会への視野を広げる子を育てます。(開)				
創設 49 周年	学校長	西尾武泰	副校長	柏木次郎	2 学期制
	児童生徒数:	531 人	主な関係校:	日吉台西中学校 下田小学校	一般学級: 18 個別支援学級: 3

<b>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</b>	<b>日吉台西中 ブロック</b>	<b>小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</b>
コミュニケーション能力 自己肯定感と自己有用感 協働的に課題解決する力 礼儀・規律を重んじる態度 自分の学校・まち・自国を愛する心	日吉台西中学校 下田小学校 駒林小学校	○ 自ら学び、互いに高め合いながら、協働的によりよい社会を築こうとする子ども ----- 【日吉台西中ブロックテーマ】 ～9年間の学びの連続性・継続性を踏まえたカリキュラム・マネジメント～ ○ 思考力・判断力・表現力等の育成と小中一貫の質の向上を目指して、小中授業参観と合同研究協議等を実施し、ブロックテーマについての共通理解を図ります。 ○ 小学6年生を招いて行う、生徒会本部役員会による中学校生活ガイダンスや、土日を使った部活動体験等、児童と生徒が交流できる場を作ります。

<b>中期取組目標</b>	○子ども一人ひとりを大切にしながら、まちとともに歩む学校にします。 ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの思いや考えを大切にしながら学力を向上させます。 ・一人ひとりが自己肯定感、自己有用感を持ち、自己表現ができるようにします。 ・健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。 ・礼儀や態度を重んじ、公共でのマナーを大切に育てます。 ・まちの「人々」や海外の「人々」とのコミュニケーションを通して、自分の住むまちや自国を愛する心を育てます。 ・子どもの資質・能力向上のために効果的な予算執行に取り組みます。
---------------	--

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①全ての教科において個に応じた指導を展開し、基礎学力の定着化を図る。②グループ活動や課題解決学習を通して、思考力・判断力・表現力等の育成を図る。③職員全員で児童を守り安心した学校生活に繋がるように教科担任制を適宜取り入れる。
担当	A部会	
徳	豊かな心	①児童主体であいさつが上手にできるように取り組む。②音楽集会での聴き合いを通して音楽的な情操を育てるとともに高学年へのあこがれの気持ちを育む。③たてわり活動を通して児童の自己肯定感や有用感を育てる。これらを駒林小学校の3本柱とし、魅力ある学校づくりを目指す。
担当	B部会	
体	健やかな体	①1校1実践では、短縄に取り組む。日常的に短縄に取り組み、様々な跳び方への挑戦をすることより体力の向上と心身の成長を図る。②学校保健委員会では、「学校安全」をテーマにし、児童自らが危険予知能力を高められるような活動を推進する。
担当	C部会	
公 開	自分づくり教育	①進んでさまざまな人やものとふれあいながら、社会への視野を広げる子を育てるために、地域の方々や日吉台西中学校との交流を進める。②オンラインで交流を深めることや、児童が体験を通してふれ合うことで、多様なものの見方や考え方を受け入れる姿勢を育てる。
担当	B部会	
いじめへの対応		①いじめ対策防止委員会を中心にいじめと思われる(発展すると思われる)事案に関して組織で対応する。②見守り体制の充実を第一に、気持ちに寄り添い、安心して過ごせるように支援を行う。③YP等を活用した学級風土理解、職員研修を進める中で、職員の「見つける目」を育成する。
担当	特別委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①重点研究・メンターチーム・初任研等々相互の関連を図りながら研修内容を充実させる。 ②ABCの三部会の組織を充実させて具体的取組に主体性を持たせるとともに、PDCAサイクルにより具体的取組の向上を図る。 ③教科担任制を適宜導入して教師の教材研究の負担を少なくする。
担当	教務部・メンター	
地域連携・ 学校運営協議会		①説明会や懇談会を活用し、学校と保護者・地域の方々との相互理解に努める。 ②学校便りやHPを活用し、情報を積極的に発信する。 ③地域の思いや要望を把握するとともに、学校運営協議会における学校関係者評価等もふまえ、地域とのつながりや連携を大切にしたい教育活動を推進する。
担当	教務会	
特別支援教育		コーディネータを中心に、配慮を要する児童に対して特別支援教育を行う。①研修を通して担任教諭のスキルアップを図り、教室内で日常的に特別支援が行われることを目指す。②SC、SSWその他外部機関と協力・情報交換、ケースカンファを行うなど、児童を取りまく環境整備に努める。
担当	特別委員会	
児童指導		児童支援専任を中心として児童の課題に沿った指導を行う。①登下校の際の安全確保や、交通マナーなど学年に応じた指導を的確に行う。②教科担任制を適宜活用し、学年全体で児童を見取る。③専任や級外なども連携して情報交換するなどチームで対応し、横断的な目で児童を見守る。
担当	児童指導部	
多文化共生		①外国の言語や習慣、食べ物などを紹介することで、全校児童の多文化共生の取組を推進する。②オーストラリアのモアランド小学校との交流を深め、自分の英語が通じる喜びを知る。さらにお互いの文化を紹介することにより、外国への関心をさらに高めることが出来る。
担当	国際理解・A部会	